

平成 24 年度 実施メニュー実施結果表

No. 61 (当初計画: No. 64)

東北森林管理局

取組名	国有林材の安定供給システムによる資材の供給 (継続)
流域名	宮城南部流域
重点事項番号	① - 1 1
実施箇所及び実施日	①石巻市 (第 1 回) 平成 24 年 4 月 27 日 ②石巻市 (第 2 回) 平成 24 年 7 月 20 日 ③石巻市 (第 3 回) 平成 24 年 10 月 19 日
取組の背景及び必要性	安定的な資材調達のため、原木生産者・加工業者の連携を図り、システム販売による国有林材の安定供給についての要望がある。
取組の内容	「国有林材の安定供給システムによる販売協定」に基づいた、平成 24 年度の供給量は、合板用材としてセイホク (株) に 3,740 m ³ 供給した。 この実績を踏まえ、25 年度においても木材産業関係者の安定的・計画的な事業運営が図られるようシステムを活用した資材の安定供給に寄与することとし、本格的な事業が見込まれる、東日本大震災の復旧・復興のために安定的に木材を供給する。 ①～③は、合板用県産材の供給等に関する調整会議。
国有林担当部局・役割	協定締結による国有林材の安定供給。
連携協働相手先・役割	安定確保による販路の拡大、有利販売。
取組の結果、反響、今後の課題等	安定的な木材の供給により、今後も継続することの期待がある。しかし、需要に応じた時期的な弾力的な対応については十分な調整が必要である。
PR の実施状況及びその期待する効果	関係諸団体が出席する各種会議等を通じて周知する。 木材産業関係者の事業についての実行状況を把握し、情報の共有による安定的・計画的な地域振興と木材需要の確保。

【参考資料】

取組名	国有林材の安定供給システムによる資材の供給（継続）
-----	---------------------------

合板用県産材の供給等に関する調整会議の開催状況



平成 24 年度 実施メニュー実施結果表

No. 62 (当初計画 : No. 65)

東北森林管理局

取組名	木質バイオマス資源の利用に向けた取組 (継続)
流域名	宮城南部流域
重点事項番号	①-13
実施箇所及び実施日	①宮城県森林組合連合会大衡総合センター 平成 24 年 9 月 24 日
取組の背景及び必要性	東日本大震災の影響で木質バイオマスエネルギー利用について、期待が高まっている。パーティクルボード、ファイバーボードなどの木質系材料での利用とともに、石炭火力発電所における混合利用やボイラー等の熱・エネルギー利用により、木質系がれきや未利用木質資源の総合的な利用促進が課題となっている。
取組の内容	東日本大震災による木質系がれきや林地残材等の未利用資源の利用拡大に向け、各地における取組事例、チップ用原木の需給見通し、安定的な供給体制整備などの課題について、活性化センターとの連携により会議等により意見の交換を実施した。
国有林担当部局・役割	仙台森林管理署 取組状況等の情報提供
連携協働相手先・役割	宮城県、流域活性化センター 取組状況等の情報提供
取組の結果、反響、今後の課題等	意見の交換等を通じて、取組の課題や今後の方向性について認識を深めることができた。
PRの実施状況及びその期待する効果	今後の木質バイオマスに対する取り組みについて各団体へのPRすることにより、木材の利用拡大等による林業の活性化が図られる。

【 参 考 資 料 】

取 組 名	木質バイオマス資源の利用に向けた取組 (継続)
-------	-------------------------



平成 24 年度 実施メニュー実施結果表

No. 63 (当初計画 : No. 66)

東北森林管理局

取組名	低コスト林業の確立に向けた路網整備 (新規)
流域名	宮城南部流域
重点事項番号	②-22
実施箇所及び実施日	①黒川郡大衡村大衡大瓜 (大衡総合センター) 平成 24 年 11 月 29 日 ②仙台市泉区泉ヶ岳民有林 (宮城県林業公社有林) 平成 24 年 12 月 3 日～8 日
取組の背景及び必要性	木材生産の低コスト化を進めるためには、国有林・民有林において、基盤である森林路網の整備が必要である。 森林の路網の整備にあたっては、各種基準等について十分な認識を持つことと実際の経験が必要である。
取組の内容	昨年、開催した研修会に引き続き、さらに具体的に森林作業道等作設に携わる者を対象とした研修会を開催した。また、民有林における作業道の実施基準、作設指針についての理解と実地による講習を実施した。 ①は、宮城県が策定した「宮城県森林作業道実施基準」、「宮城県森林作業道作設指針」等についての室内研修を実施した。 ②は、森林作業道作設について、現地での実習による研修を実施した。建設機械オペレーターが交互に作設し、森林作業道の作設についての注意点などを理解した。
国有林担当部局・役割	仙台森林管理署 路網整備の情報提供
連携協働相手先・役割	県、市、町、活性化センター等 実施基準等の周知及び現地実習
取組の結果、反響、今後の課題等	宮県の実施基準等についての講習と現地での実習による体験により路網作設についての基本について理解を深めた。
PRの実施状況及びその期待する効果	低コスト林業を実施するうえでの森林路網の重要性とコストについての認識を深め、路網の充実に推進するものである。

【参考資料】

取組名 低コスト林業の確立に向けた路網整備（新規）

室内研修



活性化センター会長挨拶



講義の状況

現地研修



作設の指導



作設の実習

平成 24 年度 実施メニュー実施結果表

No. 64 (当初計画 : No. 67)

東北森林管理局

取組名	森林病虫害防除対策の推進 (継続)
流域名	宮城南部流域
重点事項番号	④ - 44
実施箇所及び実施日	①宮城県松くい虫防除対策協議会 平成 25 年 1 月 31 日
取組の背景及び必要性	<p>まつくい虫被害については、内陸部で引き続き発生が認められる。また、海岸林は東日本大震災の津波により多大な被害を受けたため被害状況は把握できない。しかし、一部においては松林が残存としていることから発生状況について確認する必要がある。</p> <p>平成 21 年度に県内での発生が確認されたナラ枯れ被害については終息には至っていない状況にある。</p> <p>今後、被害の情報収集と防除対策等は民・国連携した取組が重要である。</p>
取組の内容	松くい虫被害とナラ枯れ被害の発生状況等の情報収集及び意見交換と民有林と国有林の被害対策状況を報告し、今後の取り組みについて確認した。
国有林担当部局・役割	仙台森林管理署、局森林整備課 情報収集、民有林と連携した防除対策
連携協働相手先・役割	宮城県、関係市町 情報収集、国有林と連携した防除対策
取組の結果、反響、今後の課題等	関係諸団体が出席する会議等により周知した。 今後の対策について連携を図る必要がある。
PR の実施状況及びその期待する効果	関係機関との連携により、国有林の取り組みを PR している。

平成 24 年度 実施メニュー実施結果表

No. 65 (当初計画: No. 68)

東北森林管理局

取組名	森林ボランティアによる森林整備活動の推進(継続)
流域名	宮城南部流域
重点事項番号	⑥-62
実施箇所及び実施日	①仙台市(谷地中林:植樹式) 平成24年11月4日 ②仙台市(権現森山:社会体験) 平成24年10月24日 ③仙台市(民有林(秋保):森林調査) 平成24年11月25日
取組の背景及び必要性	①東日本大震災の津波により仙台沿岸の海岸林は壊滅的な被害を受けた。この海岸林については、一日も早い復旧が望まれている。海岸林を整備する現状において、人的な面で不足している現状がある。 ②「ふれあいの森」「遊々の森」「体験林業」「仙台自然休養林」等での森林整備や歩道整備における安全及び作業指導等の要請がある。また、ごみの不法投棄防止や希少植物盗採防止等の啓蒙普及が必要である。
取組の内容	①仙台地区海岸防災林復旧工事が終了予定に近い箇所において、本局主催の「植樹式」が開催され当署も準備を含め協力参加し、当署関連のボランティア団体も植樹式に参加した。 ②「遊々の森」等の協定団体から森林作業等の作業用具の貸与、講師の依頼について対応した。日本の森林や森林調査の技術についての講習や林内作業における安全について指導した。
国有林担当部局・役割	仙台森林管理署 作業指導、作業用具の貸与等
連携協働相手先・役割	海岸林整備活動の実施。 各団体による森林整備活動。
取組の結果、反響、今後の課題等	海岸防災林の整備活動を実施については、工事の進捗状況を把握することにより、多くの市民等が参加できるようイベントを企画し、海岸林の復旧について認識を広める。 また、森林を利用した整備活動等を積極的に取り組むよう各ボランティア団体に呼びかける。
PRの実施状況及びその期待する効果	海岸防災林の復旧及び森林の整備におけるボランティア活動については、その内容について報道等により広報されたことにより、さらなる活動につながるものである。

【参考資料】

取 組 名

森林ボランティアによる森林整備活動の推進（継続）



海岸防災林の復旧
植樹式の植樹状況
平成 24 年 11 月 4 日

社会体験
中学生への講話
平成 24 年 11 月 4 日



森林施業の研修
林分の調査
平成 24 年 11 月 25 日

(様式 2)